activity

春のキャンプ

防災角打ち vol.1

聴き打ち

防災角打ち vol.1
聴き打ち
の楽しみ方

1 缶詰を **開ける**
好みの缶詰を選び、非常時のことを考え缶切りを使わず開けてみましょう。

2 お酒を **呑む**
酒屋で買い物中に我慢できず、ついつい酒に口を付けてしまったことから角打ちという言葉が生まれました。開けた缶詰をつまみに、ついついお酒を呑みましょう。

3 防災を **語る**
竹田の防災に関することや、角打ちについての意見を交換しましょう。

もしもの時の準備・行動を話しませんか？

角打ちとは酒屋の一角で酒を飲む事。そして今回開催したイベントは主催者、参加者が新しいことを知るということをテーマに「聴き打ち」と名付けた。災害時非常食になる缶詰をおつまみに災害、防災などの意見を交換した。防災を考えるという事とお酒を呑む角打ちを一緒にしたのは、気軽に訪れられ、その時その場所で出会った人と繋がりを持ってほしいから、そして人と人との繋がりと防災を考えるという事をセットで考えていきたかったから。昔から竹田では近所付き合いが大切にされていて、非常時もお互い助け合うことで乗り越えていた。お酒を飲みながら、防災の意見交換をして盛り上がる、そして人と人との繋がりの大切さに気付くことができるような雰囲気を目指した。

member/ 薬師寺晋平【京都工芸繊維大学建築 1 回生】

もしも事

もしもの災害や防災について考え行動するプロジェクト。第一歩目として竹田山口区の松川隆志さんに協力していただき、三月三日に公民館にて「防災角打ち　聴き打ち」を開催。

薬師寺晋平の think

1 「行く」から「帰る」場所へ

約一ヶ月の夏キャンプ期間中、竹田の方の普段の仕事のお手伝いをさせていただきました。様々な場所で、たくさんの方々と、いろんなことをしました。

活動当初は会う人会う人が初対面の方ばかりで仕事を探すのにも一苦労でした。ですが日数が経ち、関わった人が増えていくにつれて、声をかけていただけるようになり竹田での人の温かみを身にしみて感じるようになってきました。

Ｔキャンプに入ったばかりの頃、京都から竹田に向かうときは竹田に「行く」という言葉が僕の心持ちに合っていました。しかし、今では第３の故郷として竹田に「帰る」という言葉の方がしっくりくるような感じがします。

・もしも事・

2 竹田の人と作り上げたい

３月３日の「防災角打ち vol.1 聴き打ち」は僕と山口区の松川隆志さんのダブル店長で開催しました。

11 月に開催した「たっけだっけ会」の際に松川さんから出た「角打ちのように気軽にお酒を飲む場がほしい」という意見に、夏キャンプの経験から「竹田に新たなコミュニティスペースをつくりたい」と考えていた僕が乗っかったかたちでプロジェクトとなりました。そこから案を練り、チラシ＆アンケート作り、プレ角打ちなどの事前準備を松川さんと打ち合わせを進め、イベント本番に望みました。

僕はＴキャンプに入った当初から、学生だけの活動ではなく、地域の方と一緒に作り上げる活動ということに憧れていました。防災角打ちというものを松川さんと目に見える形でアウトプットできて本当に嬉しかったです。　これを第一歩目としてたくさんの竹田の方と一緒に活動していきたいと思います。松川隆志さん本当にありがとうございました。そしてこれからもよろしくお願いします。

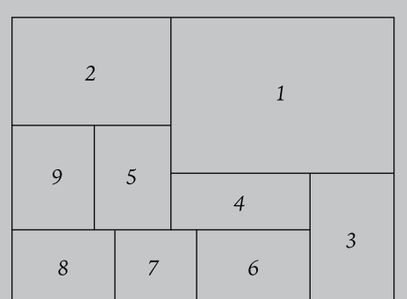
3 大切にしたい「人との繋がり」

３月３日に行った聴き打ちは、災害や防災などの話を聞いたり、一つの問題に対して討論したりと、考えていた以上に良い雰囲気で終了することができました。

この聴き打ちを開催して、防災とはこのように人が集まって話をすることで生まれる繋がりが重要なのではないかと感じました。もちろん目に見えないリスクに対して防災グッズなどを用意することはとても大切なことです。それに加えて、いざとなったらみんなで協力して乗り越えられるという関係性があったら怖いもの知らずなのではないかとも思いました。これからは「人と人との繋がり」という考えを大切にしながら活動していきたいです。また防災角打ちの２回目、３回目・・・なども竹田の方と一緒に開催していきたいと思っています。

think した人●薬師寺晋平【ヤクシジ】
1998 年 5 月 21 日生まれ / 神奈川県出身
京都工芸繊維大学建築１回生

防災角打ち vol.1 聴き打ち



(1) 聴き打ちを楽しむ学生と竹田の人達 (2) 消防士だった頃のことを語る竹内さん (3) 使用する机、屋台を運ぶ様子 (4) 聴き打ちの説明が載ったカード (5) 看板 (6) 店番をする松川店長 (7) 災害時のことを想定して、缶切りを使わず缶詰を開ける薬師寺店長 (8) 防災角打ちの打ち合わせの様子 (9) 今回の角打ちのつまみとなる缶詰。